



2026年5月29日

各 位

株式会社HODL1  
代表取締役CEO 田原 弘貴  
(証券コード：2345 東証スタンダード市場)  
(お問合せ先) 取締役CSO 田中 遼  
電話番号 03-6427-7380 (代表)

## ブロックチェーン上の取引における企業向けトランザクション処理基盤に関する技術検証開始のお知らせ

当社は、ブロックチェーン上の取引における企業向けトランザクション処理基盤に関する技術検証の開始について、下記のとおりお知らせいたします。

記

### 1 技術検証の概要

当社は、企業がブロックチェーン上で各種資産を取り扱う際に必要となる関連処理の設計・構築・運用に際し、実行基盤の新規構築を自社で行うことなく、かつガス代（ブロックチェーンを利用するための処理手数料のようなもの）用の暗号資産を保有することなく利用できる仕組みについて、技術的実現可能性の検証（以下「本技術検証」）を開始いたします。

### 2 検証の背景及び中期経営計画との関連

従来のブロックチェーン取引では、トランザクションの安定処理には専門的なインフラ運用が求められ、自社単独での構築・運用が困難なケースも存在します。また、企業がガス代を支払うために暗号資産を保有・管理することが、会計・コンプライアンス上の障壁となっておりました。これらをサービスとして企業へ提供し、インフラレベルで解決することは、ブロックチェーン技術の社会実装における重要な論点であると認識しております。

当社は2026年4月30日に公表した中期経営計画「HODL&BUIDL 2028」において、BUIDL事業をHODL事業と並ぶ収益の柱として位置づけており、イーサリアムをはじめとするブロックチェーン技術を活用したインフラ実装・コンサルティングを通じた収益の安定的な拡大を目指しております。中でも、オンチェーン金融の普及に不可欠なブロックチェーン処理基盤の整備は、BUIDL事業が取り組むべき重点領域の一つとして明確に認識しておりま

す。当社はこうした背景を踏まえ、企業利用に特化したトランザクション処理基盤をインフラとして提供するための技術検証に着手いたします。

### 3 検証内容

本技術検証では、主に以下の点を対象といたします。

- (1) トランザクション処理基盤の技術的実装可能性の検証
- (2) 対応チェーンの選定・動作確認
- (3) トランザクション処理基盤におけるセキュリティ要件及びサービス提供コスト構造の評価・検証

### 4 事業化の方向性

本技術検証を通じて実現可能性が確認された場合には、トランザクション処理基盤の提供をBUIDL事業のサービスメニューに加えることを想定しております。当社は、GameFi及びNFTプロジェクトの支援実績をはじめ、金融・IP分野のオンチェーン化に携わる専門性を有しております。NFTの大量配布や企業によるステーブルコインの一括送金（B2B決済・報酬配布等）、各種資産のオンチェーン化など、専門性や複雑性、大量性を理由に自社単独での対応が困難な領域において、当該トランザクション処理基盤をサービスとして提供する形での事業展開を目指します。ブロックチェーンを活用したい企業がガス代や技術的な専門性を意識・保有することなく利活用できる環境の整備は、オンチェーン金融の普及における重要な課題の一つであり、当該分野へのニーズは中長期的に拡大するものと見込んでおります。

### 5 スケジュール及び今後の方針

本技術検証は2026年5月より開始し、数ヶ月程度の期間を予定しております。検証結果を踏まえたサービス化の可否及び具体的な計画については、決定次第、速やかに開示いたします。

なお、本技術検証が現時点の業績予想に与える影響は軽微であると見込んでおります。

以 上